

科目名		電気保全			
担当教員		清野	実務授業の有無	無	
対象学科		電気電子工学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	単位数	時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方		消防設備士の自動火災警報器の構造を学習する。			
学習目標 (到達目標)		電気工事施工管理技術検定の消防設備士分野の問題を解けるようになる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		消防設備士4類対策テキスト+問題集、配布プリント等			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	消防設備士制度			電気火災と消防設備の必要性。	
2	防災の知識			避難設備、警報設、消火設備の考え方。	
3	警報設備			災害を見つけること、知らせること。	
4	自動火災警報器			センサーと警報。	
5	感知器の構造			各感知器の原理と構造の理解。	
6	受信機の構造			受信機の種類と性能。	
7	送信機の構造			送信機の性能と役割。	
8	消防の知識			消防法の学習。	
9	保全計画			整備と機能の維持。	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	期末試験		防災分野で消防設備士4類の学習をします。 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	
5 %	15 %	80 %	%		
実務経験教員の経歴					